



議会からの 町が動き

提案で 出す！

平成29年9月14日に提出した政策提言について、町長から回答がありました。政策提言、回答の要旨は以下のとおりです。

大学との連携で町の活性化

- ① 「キャリアアップ」、「地域づくり活動」などにつながる学習機会を住民に提供
- ② 町から大学へ積極的な提案
- ③ 取り組み成果報告書の作成



- ① 各大学の特色を生かし、学生と住民がつながる事業を実施していく。また大学を生涯学習の場と捉え、公開講座などの情報も積極的に住民に提供していく。
- ② 今年度新たに「玉村町活性化プランコンテスト」を実施した。今後も連携に関する懇談会や、意見交換会を実施し、連携事業を推進していく。
- ③ 取り組み状況等を公表する。

ふるさとまつり・花火大会の魅力アップ

- ① ふるさとまつり、花火大会への住民参加を促進、観光協会の組織化を検討
- ② ふるさとまつりを「町全体のまつり」にする施策を実施



- ① ふるさとまつりでは「サンバたまむら」を踊る住民参加パレードを実施した。花火大会では町内業者が出店する『特設テント村』を設置し、観覧者にぎわった。今後も協力団体と協議しながら、住民参加ができるイベントを企画していく。観光協会の組織化は商工会等に意見を聞きながら研究していく。
- ② 各種団体による合同会議を開催し、さまざまな視点からの意見を聞いて方策を考えていく。

待機児童（3歳未満児）の早急な解消

- ① 小規模保育事業所を早急に誘致
- ② 民間保育所の保育室の増築を支援



- ① 民間の小規模保育事業所を平成31年4月に開設できるよう29年12月に公募を開始した。関係経費は30年度予算に計上する。
- ② 民間の保育所・認定こども園での受入枠を平成31年4月から拡大できるよう、支援を行う。関係経費は30年度予算に計上する。



平成28年度の政策提言もさらに進展し、平成30年度予算に反映されました！

提言①	提言②	提言③
放課後児童対策として、学校の余裕教室の活用を検討	与六分前橋線新橋建設を推進する町独自の調査を実施	勤労者センター敷地返還後の生涯学習の場の確保
①の回答	②の回答	③の回答
学習指導要領の改訂内容を踏まえて余裕教室の活用を検討する。	平成29年度に費用対効果等を分析。	勤労者センターの代替施設確保に努める。
平成31年度から玉村小学校の余裕教室を活用するための準備を30年度に実施する。	平成30年度にのぼり旗やリーフレットを作成し、前橋市、高崎市等と勉強会も実施していく。	平成30年度に勤労者センターの土地を購入し、継続使用を図る。